

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも 書えない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|----------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 配置基準に基づいた職員配置を行っています。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | ○ | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | ○ | | | 掃除・消毒等を行い、定期的に設備等の点検も行い過ごしやすい環境になるよう心がけています。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 日々のミーティングと月に数回の会議を行い、利用者の目標達成に向けた振り返りを行っています。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 評価を実施することにより保護者の思いを知り、反省と改善に取り組んでいます。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | | |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ | | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | スタッフ間で会議を開きプログラムを作成しています。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 月の行事や意図的なプログラムの変更などの工夫を行っています。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | | 利用者の年齢・発達段階・特性などを考え、個別・集団それぞれを組み合わせています。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 短い時間でも毎日打ち合わせや役割の確認を行っています。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 毎夕その日の利用者の振り返りを行い、気になった点・良かった点など出し合い、次の療育につながるよう情報を共有しています。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 毎日記録を取り次の療育につなげています。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 半年に一回モニタリングを行い、支援の評価・見直しに努めています。 |

| | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | 利用者の担当とできるだけ児発管も同行するようにし、それぞれの立場から利用者の状況を把握するようにしています。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | | 必要に応じた連携を取り支援につなげています。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | 定期的な連携会議で利用者の現状把握を行い、その先の支援に対する相互理解に努めています。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | | ○ | 教育委員会を通しての情報提供は行っていますが移行支援としての情報提供までは行っていません。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | 定期的な研修や支援など必要に応じて行っています。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | | ○ | 現在、交流会等は行っていません。 |